

令和3年3月15日

産業厚生委員会記録

阿久根市議会

1. 日 時 令和3年3月1日(月) 9時56分 開会
10時13分 閉会
2. 場 所 第2委員会室
3. 出席委員 岩崎健二委員長、濱門明典副委員長、
川上洋一委員、中面幸人委員、木下孝行委員、
山田勝委員、仮屋園一徳委員
4. 事務局職員 議事係主任 松崎 正幸
5. 会議に付した事件
所管事務調査の議会への報告について
6. 議事の経過概要 別紙のとおり

◎所管事務調査の議会への報告について

岩崎健二委員長

ただいまから、産業厚生委員会を開催いたします。

本日は、所管事務調査の議会への報告を議題といたします。

平成31年6月28日開催の、平成31年第2回定例会にて決定しました、

- (1) 集落営農等の農業振興策について(有害鳥獣問題含む)
- (2) 道の駅等の活性化について(新道の駅含む)
- (3) 市街地の活性化対策について(青果市場跡地の利用含む)
- (4) 海を活用した観光行政と水産業の振興策について

の4調査事項について、コロナ禍の影響で思うように調査できず、今なお継続中のものもごさいますが、5月に委員会構成の再編もごさいますので、ここを1つの区切りとし、それぞれの項目においてこれまで調査したことを、3月23日の本会議で議会へ報告したいと考えております。

なお、報告については、新型コロナ対策における時短もごさいますので、お配りした内容のとおり簡潔に報告したいと考えます。

それでは、お配りしました委員長報告について熟読していただくため、暫時休憩します。

(休憩 9:57~10:02)

岩崎健二委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

ただいま、委員長報告について皆さんにお目通しいただきましたが、委員の皆さんから意見はごさいませんか。

中面幸人委員

農業振興策、有害鳥獣問題についてお話しします。

よく審査した結果が内容的にまとまっているなあというふうに思っております。それで、最後のほうにも書いてありますけれども、やはりこの問題を早期に解決するためには、いかくらと捕獲隊とをうまく調整してこの鳥獣問題をはっきりと解決するためには、捕獲指示等の行政と組織とのシステムを変えるということに対してですね、早くですね、早くこのシステムを変えるということを執行部に強く言ってほしいと。そうしないと、だらだらだらだらと行く気がしますので、まずこのシステムを変えることは大事だと思いますので、特にこの2年度の委員会としてこの辺をしっかりと執行部のほうに、システムを早く変えるということを、念を押して強く意見を付してほしいと思います。

岩崎健二委員長

ここにも、市が直接個人個人に配付するといった方法にしていきたいというふうに書いてあるのですが、こここのところできるだけ早くという文言を入れればいいということですか。

中面幸人委員

はい。もう早急にですね。もう新しい年度でと。

岩崎健二委員長

では、このできることならばというところを消して、新年度から市が直接個人個人に配付するといった方法に変更していただきたい、ということでもいいですか。

山田勝委員

文章としてはね、非常によくできていると思う。でも、強くないんですよ。意見が、執行部に対する要望が強くない気がします。何でかと言うと、例えば、捕獲隊の成り手がたくさんいた過去じゃなくて、この頃は捕獲隊がものすごく増えているんですよ。これが始まるころにすれば。それは補助金がたくさん出るから、みんな増えたんですからね。わなの免許にも補助金を出し、ないのけん補助金を出しているから。たくさんいた過去じゃなくて現在増えているんですよ。増えているから捕獲頭数が多い。

それと、市が直接個人個人直接配付する方法にしていきたい、いただきたいじゃなくて制度の見直しをしないとですね、制度の内容の見直しをしないと。今のままだったら絶対妥協しないですよ彼らは。そして、制度の考え方を曲解している。自分たちが数の論理でどげんでんできるって思ってる。これでは目的を達しない。だから、制度の見直しをしてほしい。

岩崎健二委員長

それでは、中面委員と山田委員から話があった、できることならばというところを、新年度から市が直接配付するといった方法に制度の変更を早急にしていきたい、こういうことでもいいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ほかにありませんか。

山田勝委員

もう一つですね、制度の見直しをするときに、農政課と水産林務課にまたがらないで、一つの課にまとめてくれということも。

中面幸人委員

国のあれと分けとったでね。

山田勝委員

いやいや、国は分けとって一緒にしている自治体はたくさんあるわけ。ほかにもどっさいあったって。だから、そうしないとうまくいかないね。こっちはこげん言う、こっちはこげん言うってなるからこういうことになるわけやっで。

岩崎健二委員長

それでは、もう一回言います。

新年度から市が直接配付するといった方法に制度の変更を行うこと。また、所管課を統一する等の変更をしていただきたいと思います。そういうことでもいいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ほかにありませんか。

木下孝行委員

1番目の農業振興策も、2番目の道の駅等活性化及び市街地の活性化対策、3番目の海を活用した観光行政、前の2つは最後のほうに引き続き調査を行っていただくことを要望いたしますと、こうありますけれども、最後の海のほうはそういう文言がうたっていないということで、この3つともまだ課題は残っているということで、最後に、この3項目全て今後も継続した審査を委員会としては決定したということをつけ添えていただければと

思います。

岩崎健二委員長

それでは、各項目ごとに、再編後の委員会でも引き続き調査していただくことを要望しますとあるのですけれども、ここのところは全体の4項目について、全て再編後の委員会でも引き続き調査していただくよう要望しますということによろしですか。どこに入れるかは委員長のほうにお任せいただきたいと思いますのですがいいですか。

木下孝行委員

最後のほうがいいと思う。

中面幸人委員

私はよく思っているが、例えば、こういう形でそれぞれの委員会で所管事務調査をしますよね。その結果を今回、はっきりと結論は出せない中での委員長報告をして、次の新しい組織へ引継ぎとなりますけれども、いつも委員会として委員長報告するが、その結果として執行部がどのように検討したか、その結果等が全然報告がないじゃないですか。だから、私はこれをどげんかして、委員長が報告をした審査結果について執行部がどういう判断をした、どういうふうに検討したかという報告を執行部にしてほしいと思います。そうでないと、ただ審査するばっかい報告するばっか意味がないと思うので、ぜひ今回からですね、例えば中間報告であっても、判断した、検討した結果を報告するようにしてほしいと思います。

岩崎健二委員長

それでは、一番最後になると思いますが、執行部においては委員会の報告に基づき検討した結果を報告していただきたいと思います、という文言を付け加えるということでもいいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、今、決定しましたとおり皆さんの意見を加えて報告したいと思いません。

なお、報告書の作成及び議会だよりの作成については委員長に一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

ほかに皆さんから何か意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、以上で産業厚生委員会を散会いたします。

(散 会 10時13分)

産業厚生委員会委員長 岩 崎 健 二